

## 佐世保市上下水道事業経営検討委員会 経営戦略【第5回】 議事要旨

日時：令和7年7月15日（火） 13時30分～14時30分

場所：水道局4F研修室

出席委員 8名（1名欠席）

**議題**：答申について

### **議事要旨**

答申案（委員長作成案）の提示

横山委員長が作成した答申案（条件付き答申）が提示され、委員各位から以下のような意見を経て、案に対して修正なしで提出されました。

- 「水源確保による節水型経営の脱却」について、大変熱量が高い意見を含めた答申となったが、今後、「委員会→水道局→市長部局→長崎県」と伝わっていく中で、その熱量が失われないようにしてほしい。
- 料金値上げをするのであるからには、必ず石木ダムを完成させること。もし、石木ダムがさらに遅れて、再び値上げとなったときには、誰が責任を負うのか？市民が料金負担でその責任を負うことが繰り返されてはならない。
- この審議期間は非常に苦しい時間を過ごしてきた。過去2回の値上げは渇水という突発的事案によるものであったが、今回は人口減少と一斉更新という社会構造上の要因による値上げであり、しかも、3年間だけの財源確保というぎりぎりのものである。この状況は非常に由々しき事態である。節水型経営の脱却は“待ったなし”である。そうでなければ3年後にはまた値上げをしなければならなくなる。
- 水道局単独経営の限界を迎えている。市長部局や長崎県を含めた一体的な対応が必要とを感じる。
- 長崎県も佐世保市も人口減少で苦しんでいる中での「条件付き」となることは心苦しい面もあるが、条件を課さなければ（水源確保等が）動かないとも思われ、やむを得ないところである。

（以上）